

浩友会だより

発行：遠藤ひろし後援会（浩友会）代表 山村正樹
事務所：市川三郷町市川大門 127番地 : 055-272-0330
ホームページ: <http://www.enyo.co.jp/koyukai/>
メール: koyukai@enyo.co.jp



遠藤ひろし議員

初当選から5年
新たな一步を踏み出しました。

平成21年度予算可決

一般会計 85億 9528万円 (+ 0.6%)

主な21年度実施事業

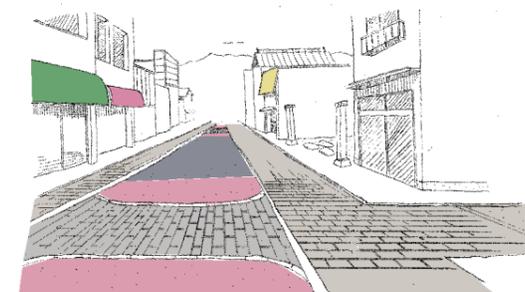
- ・富士見団地第3期工事
- ・大塚体育館耐震補強工事
- ・市川大門駅前広場整備
- ・中部横断道関連用地購入費

謹啓 春光満ちて快い季節となりました。皆さまにおかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、皆さまにご支援をいただき町行政に携わって5年の時が経過しました。この間、産業活性化教育環境など様々な角度から町行政などに対し意見を申し上げて来ましたが、振り返って総括し今後の活動に役立てたいと思いません。今後ともご指導いただきますようお願い申し上げます。 謹白

市川大門地区 中央通り美装化

中央通り美装化のイメージ



歩行者保護の考えに立ったコミュニティ・ゾーンの形成

一般質問（12月、3月定例会）

財産区でソーラー発電事業を研究すべきだ。中央通り通行改善の取り組み体制は充分か。新学習指導要領で授業時間増に対する対応は、社会性を培う学校教育を実践すべきだ。土地を取得したのになぜ議会に予算が提案されないのか。

実現しました

消防4分団詰め所

平成17年に策定された計画で、消防団詰め所の改修と別に防火水槽の設置が計画されていましたが、確実に実施できるような意見を申し上げて来ましたが、今回の臨時交付金などで実現します。場所は、現在地の東隣りで1000トンの防火水槽と団員の駐車スペースが確保され非常備消防の施設が充実します。

教育の施設整備

平成17年に策定された計画の中でも、市川大規模改修、市川小・六郷小保健室空調、市川小体育館大規模改修などには特に力を注いで来ましたが、確実かつ早急に実施できるように関係課や議会で発言してきました。

教育要望への回答

平成15年頃の教育要望に対し町は「通学路に問題があるなら他の道を通れ」「街路灯が暗いなら早く帰れ」そんな趣旨の回答をしていました。時間をかけて繰り返し議論し理解を得てきました。

教育に関する指摘

教育の目的は自立です。社会性を培い自立を促すには、集団の工夫による環境変化が必要。個性が確立する前の集団同士の過剰な競い合いは危険ではないか指摘しました。社会問題である不登校に関しては、乳幼児期の自立心阻害が原因で、家庭教育での対応を要請しています。

地域活性化・生活対策臨時交付金
国の第2次補正予算において積極的に地域活性化などに取り組む事ができるよう臨時に交付された。本町は2億 585万円。

臨時交付金のおかげで全ての校舎などの耐震補強にめどが立ち、市川中学校庭スプリンクラーまで事業化されると、担当課に足を運んだ事や2年間総務教育委員として発言した来たる事、発言する算段を考えた事など振り返り達成感あふれる思いです。今後の活動の糧としていきます。

鳴沢川の保護柵は毎年数十メートルの進ちよくでしたが、主張が理解され平成19年に全面着工しました。また、平塩の通学路も街路灯増設が無理ならせめて明るくと主張し照度改善されました。長い間のやり取りの中で考え方が理解され、大規模改修や耐震補強など様々な教育環境施設の充実が実現しました。

少子高齢化社会を迎え学校部活から地域スポーツクラブへの移行で多くの選択肢を確保すべきとも提起しています。学校部活や不登校問題などから教職員を解放し学習指導要領に則して子どもたちと向い合う時間を増やすべきです。